

同和問題の早期解決を目指して



7月3日、同和問題の解決を図るため、道の駅みやまを含めた4か所で街頭啓発活動が行われました。県では、毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、差別をなくすための取り組みを展開。当日はリーフレットなどを配布し、差別意識の解消を呼びかけました。

JICA海外協力隊として3度目の派遣



7月9日、本市の元地域活動指導員・椿原孝典さんが市長を訪問し、JICA海外協力隊員として8月から2年間、ペルー共和国へ派遣されることを報告しました。本市での経験を生かし、ペルー日系人協会におけるコミュニティ活動の活性化などの活動を行う予定です。

県内初の街ガチャinみやま



本市の名所や名物がデザインされた全11種類のキーホルダーを販売する「街ガチャinみやま」が7月12日に設置されました。電子決済のみの対応で、道の駅みやま・MIYAMAX・JR瀬高駅観光案内所・清水山荘・長田鉱泉 田中羊羹本舗で購入できます。

柳川ボーイズ 3年連続で全国大会へ



7月2日、中学硬式野球チーム「柳川ボーイズ」の選手たちが、大倉カップ第51回全日本選手権大会(7月18日開催)への出場を報告しました。市内中学校に通う選手たちが報告に訪れ、「最後の大会なので、悔いの残らないように頑張ります。」と抱負を述べました。

こども議員が議会を体験



7月6日、市議会による初のこども議会体験会が議場で開催され、12人のこども議員が参加しました。市議会議員が市長や部長役となり、提案された議案に対して質疑応答や採決を行うなど、本番さながらに議会を体験しました。

大蛇がまちを練り歩く江浦町祇園祭



7月19日、高田町江浦町で江浦町祇園祭が開催されました。3つの大蛇山(古町組、新町組、二ノ丸・吉原組)と踊り手を乗せた踊り山(田中組)が町を巡り、暑気払いや無病息災を祈りました。大蛇に子どもを噛ませ健康を願う「かませ」も行われ、大勢の人で賑わいました。

三池高校邦楽部 2年連続で全国大会へ



7月2日、三池高校邦楽部の生徒7人(高田中出身6人、瀬高中出身1人)が、全国高等学校総合文化祭への出場を報告しました。生徒は、「全員で息を合わせて、応援して下さる方々へ恩返しできるように頑張りたいです。」と意気込みを語りました。

全日本交通安全協会会長表彰を受賞



7月14日、みやま市交通安全協会が「全日本交通安全協会会長表彰」の受賞を報告しました。この受賞は、長年にわたる交通安全活動の積極的な推進や、交通安全の広報啓発、交通事故防止への功績などが認められたものです。

守り継ぐ伝統行事 小田祇園祭



7月20日、瀬高町唐尾の八坂神社で小田祇園祭(市無形民俗文化財)が行われました。花串で飾られた山車をくぐると無病息災になるといわれ、地域内を巡行する山車には、大人から子どもまで多くの人が集まりました。

書道への愛と想いを受け継ぐ



6月28日、日本習字創立者原田観峰没後30年展覧会で山門高校書道部のパフォーマンスが行われ、多くの観客を魅了しました。生徒は、「原田先生の出身地で活動できていることを誇りに思います。先生の愛と想いを繋いでいきたいです。」と話しました。

きれいな歯のぼくたち・わたしたち

3歳児健診で虫歯がゼロだったお子さんです。 〇こども家庭センター (Tel 64-1520)



井上 咲月 ちゃん (高田町)



河野 笑菜 ちゃん (高田町)



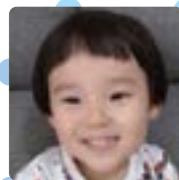
北原 妃美輝 ちゃん (高田町)



草野 倅甫 ちゃん (瀬高町)



猿渡 瑛斗 ちゃん (高田町)



高巢 煌大 ちゃん (瀬高町)



中島 華梨 ちゃん (瀬高町)



松嶋 奏来 ちゃん (高田町)



森川 陽斗 ちゃん (高田町)